

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公表番号】特表2017-519736(P2017-519736A)

【公表日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2016-569664(P2016-569664)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4184 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/404 (2006.01)

A 6 1 K 31/416 (2006.01)

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/553 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4184

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31/416

A 6 1 K 31/517

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 31/553

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月28日(2018.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

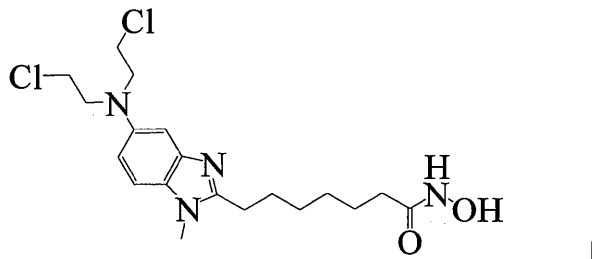
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

クラスIII受容体チロシンキナーゼインヒビター、及び式Iの化合物又は薬学的に許容されるその塩を含む組合せ物:

【化 1】



【請求項 2】

式 I の化合物の薬学的に許容される塩が、塩酸塩、臭化水素酸塩、ヨウ化水素酸塩、硫酸塩、亜硫酸水素塩、スルファミン酸塩、硝酸塩、リン酸塩、クエン酸塩、メタンスルホン酸塩、トリフルオロ酢酸塩、グルタミン酸塩、グルクロン酸塩、グルタル酸塩、リンゴ酸塩、マレイン酸塩、コハク酸塩、フマル酸塩、酒石酸塩、トシル酸塩、サリチル酸塩、乳酸塩、ナフタレンスルホン酸塩、又は酢酸塩である、請求項 1 に記載の組合せ物。

【請求項 3】

クラス III 受容体チロシンキナーゼインヒビターが、FMS-関連チロシンキナーゼ 3 (FLT3/STK1)、コロニー刺激因子 1 受容体 (CSF-1R)、幹細胞因子受容体 (SCFR)、及び血小板由来成長因子受容体 (PDGFR) から選択される、クラス III チロシン受容体キナーゼのインヒビターである、請求項 1 又は請求項 2 に記載の組合せ物。

【請求項 4】

クラス III 受容体チロシンキナーゼインヒビターが、キザルチニブ、スニチニブ、リニファニブ、フォレチニブ、スタウロスボリン、及びタンズチニブからなる群から選択される、FMS 関連チロシンキナーゼ 3 (FLT3) インヒビターである、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組合せ物。

【請求項 5】

前記組合せ物中のクラス III 受容体チロシンキナーゼインヒビター対式 I の化合物又は薬学的に許容されるその塩のモル比が 1:2000 から 2000:1 までである、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組合せ物。

【請求項 6】

薬学的に許容される希釈剤又は担体、及び請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組合せ物を含む医薬組成物。

【請求項 7】

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組合せ物、及び場合により、患者を処置するための指示書を含むキット。

【請求項 8】

癌の処置に使用するための、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組合せ物、請求項 6 に記載の組成物、又は請求項 7 に記載のキット。

【請求項 9】

前記癌が、乳癌、多発性骨髄腫、リンパ腫、及び白血病から選択される、請求項 8 に記載の組合せ物、組成物、又はキット。

【請求項 10】

前記癌が、再発性及び / 又は抵抗性である、請求項 8 又は 9 に記載の組合せ物、組成物、又はキット。

【請求項 1 1】

前記癌の処置において、クラスIII受容体チロシンキナーゼインヒビター及び式Iの化合物又は薬学的に許容されるその塩を、同時に、逐次的に、又は別々に投与する、請求項8から10のいずれか一項に記載の組合せ物、組成物、又はキット。

【請求項 1 2】

前記処置において、患者の体重1kgあたり0.01から1mgの用量範囲のクラスIII受容体チロシンキナーゼインヒビターを投与する、請求項8から11のいずれか一項に記載の組合せ物、組成物、又はキット。

【請求項 1 3】

患者の体重1kgあたり0.1から0.25mgの用量範囲のクラスIII受容体チロシンキナーゼインヒビターを投与する、請求項12に記載の組合せ物、組成物、又はキット。